

カリキュラム区分		3カリ		シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	M106	1年	前期	医療技術科学	選択	疾病制御学特論 Advanced Study on Disease Control	30	2
担当教員								
脇坂 浩之	草薙 康城							
関連するDPキーワード（看護学専攻）								
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。							
	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。							
	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。							
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。							
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）								
<input type="radio"/>	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。							
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。							
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
授業目的								
がんや婦人科疾患を中心とした最新の疾病制御に関する研究成果やエビデンスが説明できるようになる。								
到達目標（授業目標）								
①がんの発生について分子からマクロに至る様々なレベルで説明できる。								
②がんの診断や治療、患者に起こる様々な変化等を分子からマクロに至る様々なレベルで説明できる。								
③エビデンスレベルについて説明できる。								
④婦人科疾患の発生について分子からマクロに至る様々なレベルで説明できる。								
⑤婦人科疾患の診断や治療、患者に起こる様々な変化等を分子からマクロに至る様々なレベルで説明できる。								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
1回	総論：科目の趣旨説明と講義等の進め方について説明、頭頸部癌治療を通して、疾病制御に関する問題意識の整理：脇坂 浩之							
2回	がんの基礎：腫瘍概論、がんの形態・分類、がんの発生・原因：脇坂 浩之							
3回	がんの基礎：がん遺伝子とがん抑制遺伝子、エピジェネティクス：脇坂 浩之							
4回	がんの基礎：腫瘍免疫、がん増殖、がんの進展と転移の分子生物学：脇坂 浩之							

5回	がんの診断：腫瘍マーカー、CT、PET、次世代の診断方法とメカニズム：脇坂 浩之									
6回	がんの治療：化学療法、分子標的治療の現状と最新の研究成果と今後、エビデンスレベル：脇坂 浩之									
7回	がんの治療：外科的治療、放射線治療の変遷と今後、有害事象に対する研究成果：脇坂 浩之									
8回	がんの救急：oncologic emergencyの原理と症状および対応、ペイン：脇坂 浩之									
9回	妊娠合併症：妊娠高血圧症候群等妊娠合併症の原理と最新研究：草薙 康城									
10回	子宮内膜症：子宮内膜症の発生に関する最新研究：草薙 康城									
11回	子宮内膜症：子宮内膜症の診断治療に関する最新研究とエビデンス：草薙 康城									
12回	子宮頸がん：子宮頸がんの発生と制御に関する最新研究：草薙 康城									
13回	子宮頸がん：子宮頸がんの予防および治療に関する最新研究とエビデンス：草薙 康城									
14回	生殖補助医療：高度生殖補助医療（1）：草薙 康城									
15回	生殖補助医療：高度生殖補助医療（2）：草薙 康城									
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
成績はレポートで100%評価する。レポートは100点満点とし合計60点以上を合格とする（脇坂担当分野50点、草薙担当分野50点）。										
教科書	特になし									
参考図書等	参考図書 がん治療認定医教育セミナーテキスト：日本がん治療認定医機構教育委員会 文献は主として欧文文献を用いる。									
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
毎回、課題に関するプレゼンテーションの準備が必要										
関連科目										
前科目										
後科目	M312	病理細胞診検査学特	M313	病理細胞診検査学演	M318	病態情報解析特論	M319	病態情報解析演習		
実務家教員										
備考	毎回自己学習課題があります。その課題をまとめて授業に出席してください。									